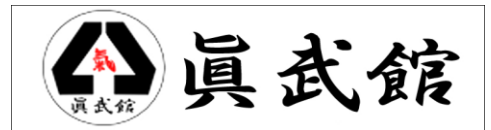


入門案内



<http://www.aiki-net.org/shinbukan/>

ご挨拶

合気道「真武館」は、財団法人 大阪合気会公認道場として、また、門川繁美師範が会長を勤められる高槻市合気道連盟ならびに、同師範が道場長の至誠館の傘下道場として大阪の高槻市を中心に三島地区を活動範囲として2010年4月に道場開きをいたしました。2021年4月4日に枚方の地に4階建ビルの本部道場を設立10周年の記念として設立いたしました。

「真武館」という道場名の由来は、故植芝盛平合気道開祖の遺された奥義相伝書「武道」に記述された、

「御祖神の至仁至愛たる**至誠より出でし真武の心**即ち誠勇誠智誠愛誠親の四魂を一に剣の下に修めし精魂の成身養體の磨きに依り全心身は剣化剣光を放つべし。」と言うお言葉から頂きました。

即ち、門川師範の至誠館より、新道場「真武館」を起こし、まさに「真武の心即ち誠勇誠智誠愛誠親の四魂を一に剣の下に修めし精魂の成身養體の磨きに依り全心身は剣化剣光を放つべく研鑽に努める」事を目標に道場を運営いたしてまいります。

合気道の修練は、単に技法の鍛錬にとどまらず、精神修養にも努め、まさに一分の隙もない名刀、日本刀のように心身の内部から光を放てるような人間形成を一緒に目指して日々研鑽を続ける場としたいと思います。

「真武館」の合気道に興味をもたれた方は、合気道や他武道の経験、年齢や男女、国籍の如何を問わず、一緒に合気道を楽しめればと思いますので宜しく願いいたします。

2021年4月4日 真武館道場長 江見博文



【合気道の沿革】

合気道とは（現代武道）

植芝盛平開祖(1883～1969)が数多くの流派の古武術を極め、その奥義を一段と飛躍させた武道の集大成であると同時に、近代社会に即応しながら新しい工夫が加えられた新しい武道です。

合気道のおいたち

そもそも合気道は、日本国内に於いて昔から伝わっている幾多の武術の修行に心身を打ち込み、その奥義を極めた開祖が、さらに精神的な修行にもいよいよ精進し、求道のあらゆる苦行の結果、そこに時代・流派を超えた新鮮な息吹と主張をもって大正年間に生まれ出たものです。第二次世界大戦後の修行は、開祖の心技をさらに一段と飛躍せしめ、88歳で入信されるまで、鬘鑠(かくしゃく)として道の研鑽や門弟の指導に余念がなかったのです。

従って日本古来の伝統をふまえた武道ではありますが、けっして古武道ではなく、勝敗を争う競技スポーツでもありません。武道精神を尊重し、しかも現代が求めるものに答えながら発展した現代武道です。

合気道の目的（円の動きと和の心）

開祖は合気道について、「合気とは敵と闘い敵を破る術ではない。世界を和合させ、人類を一家たらしめる道である。即ち、合気道の極意は、己を宇宙の動きと調和させ、己を宇宙そのものと一致させることにある。修行者は、このことを日常の鍛錬を通じて悟るべきである。」とっておられます。端的に言うなら、合気の本質は和合に通じます。開祖は常にこの和と統一の道を中心として合気を説いておられました。にもかかわらず、最近では勝敗にこだわる風潮が見受けられます。常に、目的を自覚していなければなりません。

合気道の特色（人間練磨の求道）

合気道はその動くところ入身と円転の理にして、ことごとく自然の理法にかない、氣力氣魄が満ち満ちて無理のない動作、従って合気道は心身鍛錬にもっとも理想的なものなのです。自然と自分との調和、氣と心と身体との調和を目指しながら、人間本来の生命力を高揚させて、精神力を活性化し、同時に揺ぎ無い精神安定の境地へと導いてくれます。

合気道の稽古方法（試合が無い）

合気道の稽古に於いては、試合形式をとらずに型の反復稽古を行いません。一般のスポーツと異なり、試合の勝敗と言う相対的なものを求めるのではなく、絶対的なものを求める姿がそのあり方です。むろん武道である以上は、護身術として役立つことは言うまで

もなく、しかも超越的な強さへの求道でなければなりません。

そのことが、＜和＞の精神に結びつくことにもなり、従って稽古し合っている者同士で一つの技を作り上げ、共に正しさを求め合い、正しさゆえの強さを習得するよう心がけることが大切です。

稽古を始める上での心構え

合気道は前述のように競技スポーツ性はなく、精神性を重んじます。心身の鍛錬と共に人間性を練磨する求道の「行」でもあります。従って日本の伝統的精神性の具現である礼節を重んじます。道場に入った瞬間から礼は始まり、稽古を終わって退出する迄礼は続きます。

といっても、合気道の道場では特に規則・規則でがんじがらめにするような肩肘張った堅苦しい方針はとっていません。むしろ伸び伸びとした自由な雰囲気の中で、ごく自然に知らず知らずのうちに礼節を実践することを主眼としています。

そのためには、「相手をやっつけよう」とかいう闘争心をもって臨んだり、ゲームを楽しむような遊びでやろうとすることは慎み、素直で謙虚な心構えを常に忘れずに稽古することが大切です。

稽古上の注意点

- ◇柔軟な体をつくる。
- ◇最初はゆっくり大きく動くように心がける。
- ◇強引で力任せの技をしない。
- ◇動きも呼吸も止めずに、両者が一体となり、流れるように動く。
- ◇技の型のみで囚われる事無く、中心の動きを理解するように心がける。
- ◇相手の気持ちを感じ取る。
- ◇受動的に習うだけでなく、能動的(積極的)に学び取る気構えで稽古する。
- ◇一挙手一投足もおろそかにしない。
- ◇体調に合わせて無理をしないでマイペースで行なう。
- ◇真剣な稽古の中にも楽しい雰囲気を。

合気道修行の眼目

私たちは正勝吾勝勝速日、万有愛護の精神を持って、心身共に天地に任せ、眼中敵もなければ味方もなく、清濁合わせて呑む大海の度量、一木一草をも哀れむ大自然の慈悲の心、そして一心鉄石をも貫く、真の誠を練り上げ、全人格をもって天地に報い、社会人類に貢献できるよう修行するのが、合気道修行の眼目である。

入門申込書

私は、以下の通り「合気道 眞武館」の定めに従い、合気道の修練を行ないたく入門を申し込みます。

申込者氏名		姓(family name)	名(first name)			
	ふりがな					
	漢字					
生年月日	年	月	日生	年齢	歳	
申込日	年	月	日	入門月	年 月	
勤務先／学校				携帯電話		
住所	自宅電話				メール	
	〒					

稽古料						
小学生	一般教室	5,000 円	未		済	
	小学生	4,000 円				
	親子	6,000 円				
入会金 (3,000円/年)			未		済	
道着購入 (8,000円)			要・不要	サイズ(号)	1・2・3・4・5	